## サガミメドハギ

被子植物・マメ科

Lespedeza hisauchii

**絶滅(EX)** 旧レッドリストカテゴリー 2000: - 2007: **EX** 

#### 形態と生育環境

海岸沿いに生育していたと推定される落葉小低木。葉の上面に短伏毛が生え、小葉の側脈が不明瞭である。葉柄に対する葉軸の相対長がより短いこと、1花序当たりの花数が4-8と少ないこと、小苞が萼筒とほぼ同長で、萼は花冠の長さの約半分であること、萼裂片が狭三角形で頂萼裂片の切れ込みが萼裂片の長さの半分より短いこと、翼弁が竜骨弁とほぼ同長であること、花序のとくに小花柄に多細胞からなる腺毛を持つことが特徴。

#### 現地調査の集計結果〈2007年調査〉

「現存する株数」別のメッシュ数												
<10	<50   <百   <千   <万   >万   合計   絶滅   その他							その他				
0	0	0	0	0	0	(	)	) 0		0		
危険性の主要因上位3項目の件数												
					不	不明 無		無記入		全 数		
						0	0 0		0		Г	0

#### 生育地の現状と判定理由〈判定基準:-〉

1930年代に神奈川県平塚、東京都蒲田、神奈川県葉山で採集された後、日本では近年見つかっていない(植物研究雑誌74: 268-281.)。絶滅と判断された。

#### 都道府県別生育情報(○:生育、×:絶滅)

都道 北 青岩 宮 秋 山 福 茨 栃 群 埼 千 東 神 新 富 石 福 山 長 岐 静 愛 三 滋 京 大 兵 奈 和 鳥 島 岡 広 山 徳 香 愛 高 福 佐 長 熊 大 宮 鹿 沖 府県 道 森 手 城 田 形 島 城 木 馬 玉 葉 京 荒 潟 山 川 井 梨 野 阜 岡 知 重 賀 都 阪 庫 良 山 取 根 山 島 口 島 川 媛 知 岡 賀 崎 本 分 崎 島 縄 現況

## オオミコゴメグサ

被子植物・ゴマノハグサ科

Euphrasia insignis subsp. insignis var. omiensis

### 絶滅(EX)

旧レッドリストカテゴリー 2000: **EX** 2007: **EX** 

#### 形態と生育環境

明るい草地に生える小型の多年草。コゴメグサ var. insignis では葉の鋸歯が3対だが、オオミコゴメグサでは葉の鋸歯が2対である。日本固有変種。

#### 現地調査の集計結果〈2007年調査〉

「現存する株数」別のメッシュ数											
<10	<50	<百	<千	<万	>	万	合	計	絶滅	その他	
0	0	0	0	0		0	(	)	1		0
危険性の主要因上位3項目の件数											
						不明		無記入		:	全 数
						0		1		1	

## 生育地の現状と判定理由〈判定基準:-〉

1927年採集の標本が2点存在するのみである(TNS、KYO)。それ以外の生育確認や目撃の情報もない(村田、1998)。生育地の滋賀県比良山武奈ヶ岳西南陵を村田らが30年ほど前に調査したが再発見できていない。このルートは比良山登山のメインコースで、多数の登山者が訪れており、生育していれば何らかの情報が得られるはずだが、前述の標本以外の情報は今のところ皆無である。以上のことから絶滅と判断した。

## 都道府県別生育情報 (○:生育、×:絶滅)

都道 北 青 岩 宮 秋 山 福 茨 栃 群 埼 千 東 神 新 富 石 福 山 長 岐 静 愛 三 滋 京 大 兵 奈 和 鳥 島 岡 広 山 徳 香 愛 高 福 佐 長 熊 大 宮 膺 沖 府県 道 森 手 城 田 形 島 城 木 馬 玉 葉 京 川 潟 山 川 井 梨 野 阜 岡 知 重 賀 都 阪 庫 良 山 取 根 山 島 口 島 川 媛 知 岡 賀 崎 本 分 崎 島 縄 現況

# マツラコゴメグサ

被子植物・ゴマノハグサ科

Euphrasia insignis subsp. insignis var. pubigera

絶滅 (EX)

旧レッドリストカテゴリー 2000: **DD** 2007: **EX** 

#### 形態と生育環境

1年草。茎は高さ6-12cm、白短毛がある。トガクシコゴメグサに似るが、鋸歯は鋭頭の 歯牙となる。萼は長さ4mmほどで、花冠長は萼のほぼ2倍。

#### 現地調査の集計結果〈2007年調査〉

[現存する株数] 別のメッシュ数												
<10	<50	<百	<千	<万	>	> 万	合	丰	絶滅		その他	
0	0	0	0	0		0	(	)	) 1		0	
危険性の主要因上位3項目の件数												
						不明		無記入		全数		
						0		1		1		

## 生育地の現状と判定理由〈判定基準:-〉

1922年に奈良県大台ヶ原で採集された標本記録のみで、それ以降の情報はなく、絶滅と判断した。

#### 都道府県別生育情報(○:生育、×:絶滅)

都道 北 青 岩 宮 秋 山 福 茨 栃 群 埼 千 東 神 新 富 石 福 山 長 岐 静 愛 三 滋 京 大 兵 奈 和 鳥 島 岡 広 山 徳 香 愛 高 福 佐 長 熊 大 宮 鹿 沖 府県 造 森 手 城 田 形 島 城 木 馬 玉 葉 京 州 潟 山 川 井 梨 野 阜 岡 知 重 賀 都 阪 庫 良 山 取 根 山 島 口 島 川 媛 知 岡 賀 崎 本 分 崎 島 縄 現況